

総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業実践事例

都道府県名 大分県 受託団体名 大分県教育委員会(おおいた広域スポーツセンター)

実践テーマ 「スポーツ参加意識の向上」

各ライフステージに応じた魅力あるスポーツ環境づくりにむけて

【テーマ設定の理由】

国見地域では、923みんなんクラブを中心にスポーツ環境の整備に努めてきたが、運動を苦手とする子どもや無関心な大人も少なくない。そこで、子ども・壮年層・高齢者のライフステージに応じたスポーツ環境の提供に向けて取り組むこととする。

実践クラブ評価委員会

谷口勇一(大分大学教育福祉科学部准教)	佐藤博章(国東市市民健康課長)
土谷忠昭(県体育協会クラブ育成アドバイザー)	伊美哲二(国東市生涯学習課長)
鈴木基史(県体育保健課体育スポーツ振興監)	小田公士(国東市国見分室長)
宇都宮重幸(県東部振興局地域振興部主幹)	河野久子(国東市立竹田津小学校長)
川上京子(県国東保健所地域保健課主幹)	宮永英次(夢さきスポーツクラブ会長)
山口英則(国東市企画課長)	小笠原美津子(国東市レクリエーション協会事務局長)

課題解決のために連携をとった機関・団体

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ■国東市教育委員会(生涯学習課) | ■大分大学教育福祉科学部 |
| ■国東市市民健康課 | ■NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会 |
| ■湯の里 渓泉 | ■国東市食生活改善推進評議会 |

【上記機関・団体と連携をとった効果】

市町村合併により923クラブと行政との連携が十分でなかったが、本事業の実践を通して923クラブの活動を認知し、行政(生涯学習課、国見分室、市民健康課)との関係が以前より良好になり、新たな協働事業の実施に向けた可能性が広がった。

実践クラブ名 NPO法人923みんなんクラブ

【クラブ概要】

- ・設立年月日 平成 16 年 5 月 28 日 設立 (平成19年6月14日NPO認証)
- ・クラブ所在地 国東市国見町大字伊美3884番地
- ・クラブの特色 農業体験や海洋スポーツなど各種体験ができる教室や、独自に放課後児童クラブを開所するなどスポーツを通した子ども達の健全育成を主体的に活動している。高齢者向けの健康教室を実施。さらに、音楽祭など文化的なイベントに取り組み地域の活性化に貢献している。
- ・クラブマネジャーの活動状況 非常勤・無給
- ・会員数(H20.7.1現在) 155 人 ・定期活動種目数 7 種目
- ・会費の種類と金額 ●大人 5,000円/年 ●子ども 2,500円/年
●家族・団体割引 500円 (保険料は会費に含む)
- ・平成20年度総予算額 1,728,000 円

実践プロジェクト① コーディネーショントレーニング講習会・体験会

◆プロジェクトのねらい

運動が苦手な子どもから高齢者まで気軽に安全に行えるプログラムとして啓発し、その指導者を養成するため、地域の運動・スポーツ指導者や保護者などを対象とした講習会や体験会を行う。

◆実施概要

講習会は7/5、10/26、12/7の3回、体験会は、7/6、10/25、12/6.8に7カ所で開催した。参加者は国東市教育委員会、市民健康課等協力機関を通して募集した。指導はNPO法人日本コーディネーショントレーニング協会派遣講師が実施した。

◆参加者数 7/5.6 36名、10/25.26 93名、12/6.7.8 259名 のべ388名

◆活動の様子



◆評価

コーディネーショントレーニングは、子どもから高齢者まで楽しく参加できたという感想が多く、スポーツ参加意識を向上させるためのプログラムとして高い効果が期待できる。

実践プロジェクト② みんなんこども広場

◆プロジェクトのねらい

小学生を対象に、スポーツだけでなく農業体験や料理教室など多様な活動を通して、運動の苦手な子どもも気軽に運動・スポーツに参加できる機会の提供。

◆実施概要

6/21～2/21の毎月1回計9回実施。地域の小学校にて募集チラシを配布。コーディネーショントレーニングや各種スポーツ体験を実施。料理教室や昔遊びは地域の関係団体に講師を依頼。

◆参加者数 6月33名、7月37名、8月48名、9月27名、10月27名、11月26名、12月230名、1月18名、2月40名 のべ486名

◆活動の様子



◆評価

運動・スポーツ活動に限らず多様な体験活動を行うことで、日頃運動しない子どもも参加できた。また、一部関係団体と連携して子どもに接する機会が創出できた。

実践プロジェクト③ 歩いて健康

◆プロジェクトのねらい

壮年層を対象としたパークゴルフ等「歩く」プログラムを通して、運動不足の解消と運動・スポーツする習慣を身につけるためのきっかけづくりとし、スポーツ参加意識の向上を図る。

◆実施概要

6/14～2/14の毎月1回コーディネーショントレーニングを用いた準備運動・パークゴルフ等とキャラクター成長型歩数計の貸与による1ヶ月毎の歩数計測及び事業前後の身体計測を実施した。新聞折り込みにより参加者を募集した。

◆参加者数 6月9名、7月9名、8月60名、9月9名、10月7名、11月13名、12月18名、1月21名、2月23名 のべ169名

◆活動の様子



◆評価

壮年層をターゲットとしたが、参加者は高齢者がほとんどでねらいが十分果たせなかった。しかし、ほとんどの参加者には歩く習慣が身につき、健康に対する意識やスポーツ参加意識の向上につながった。

実践プロジェクト④ 温泉DE体操

◆プロジェクトのねらい

温泉施設を利用する高齢者を対象とした体操教室を行い、仲間と運動する楽しさを味わうことで、生涯にわたって運動・スポーツをする習慣やスポーツ参加意識の向上を図る。

◆実施概要

6/12～2/19の間に月2回、市の福祉事業として実施された温泉バスの運航日にあわせて、転倒予防運動など高齢者向けのコーディネーショントレーニングを行った。

◆参加者数 全24回、平均8名 のべ191名

◆活動の様子



◆評価

参加者の「最近転ばなくなった」「友達が増え楽しい」「運動を意識してするようになった」といった感想からも、事業を通して生活の中で体を動かすことを意識し、スポーツ参加意識の向上に働きかけた。

実践プロジェクト⑤ みんなん健康講演会

◆プロジェクトのねらい

地域住民を対象とした運動・スポーツに関する講演やシンポジウムの開催を通して、健康づくりのために運動・スポーツを行う意義を啓発し、スポーツ参加意識の向上を図る。

◆実施概要

基調講演「私とスポーツ人生」元水泳五輪代表、923みんなんクラブ・市民健康課の実践事例発表、健康づくりと町づくりをテーマとしたシンポジウムを実施した。また、市民健康課や生涯学習課を通じて健康センター、小中学校、市体育協会などにチラシを配布し参加者を募集した。

◆参加者数 約70名

◆活動の様子



◆評価

市民健康課と連携した健康講演会の開催によって、健康のために運動・スポーツが効果的であることが啓発され、スポーツ参加意識の向上に働きかけた。

本事業の成果

本事業の実践を通して、合併によりズレを生じていた923みんなんクラブと市担当部局（生涯学習課、国見分室）との関係が以前より良好になったことが一番の成果であり、市民健康課とも市民の健康づくりの上で連携のための体制づくりができた。

また、本事業の参加者と非参加者間の各種意識比較から参加者の「クラブへの加入意向の高まり」、「当該地域への愛着心の高まり」が確認でき、本事業展開が住民の運動・スポーツ参加意識向上と活力ある地域づくりにおいて一定以上の貢献がなされた。

本事業の課題と今後の取組

923みんなんクラブなど総合型地域スポーツクラブの活動に公共的意味合いを付加し、各種関係団体との連携や協力関係を構築する上で広域スポーツセンターのコーディネート機能の必要性を再確認した。本事業においては、まず教育委員会と総合型クラブとのパートナーシップ関係の強化に取組む必要があると考える。

また、総合型クラブにおいても担当部署との報告・連絡・相談を密にするなど行政との新たなパートナーシップ関係の構築に取組みながら事業を展開・継続していくことが必要である。

(本件問合せ先:大分県教育委員会(097-536-1111) おおいた広域スポーツセンター(097-551-1511))